

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日
平成 28 年 3 月 23 日

Table with columns for project name, policy system position, budget category, and fiscal year position. Includes details for '景観まちづくり推進事業' and '住環境の整備と景観の形成'.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details about the landscape plan and implementation.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with columns for activity indicators, targets, and intention. Includes data for '景観まちづくり協議会の開催' and '地域活動等に継続して参加している市民の割合'.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing input volume and cost trends from 2014 to 2030. Includes sub-tables for '事業費' and '人件費'.

Table showing internal costs for 2017 and 2018. Includes a summary row for '合計'.

(4) 当該年度の実施内容

Table with columns for implementation content for 2018, 2019, and 2020. Includes a list of main activities and a right-pointing arrow.

事務事業名	景観まちづくり推進事業	事務事業No.	40502000779	所属課	都市整備課
-------	-------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

真壁地区における景観に関する機運の高まりを受けてスタートしたが、平成23年3月11日の東日本大震災の発生に伴い、作業は一時ストップし、今日まで凍結状態となってきた。このたび、震災から5年余りが経過したことから、作業を再開することとしたい。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?

景観計画については、具体的な規制事項を規定するものであることから、平成22年度に実施した住民説明会においては十分に住民の理解が得られなかった。東日本大震災の発生後、関係者と協議した結果、市内の復旧・復興が完了するまでの間、新たな規制を施行することについて住民の理解を得るのは困難であるとの結論に至り、本事務事業は今日まで凍結状態となってきた。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	第1次総合計画(後期基本計画)第4章に掲げる基本政策「快適で潤いのある生活環境づくり」の実現を図るためには、景観計画を策定し、良好な景観の形成を促進していくことが不可欠である。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	景観法で景観行政団体の事務事業と規定されている。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	景観計画の策定には、地元住民の同意と理解が必要だが、まだその段階ではない。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	景観法で景観行政団体の事務事業と規定されており、廃止できない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか?(市以外の取り組みも含む) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名)	<input type="checkbox"/> 余地がない	景観法で景観行政団体の事務事業と規定されており、他に手段がない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない	正規職員の直営作業と外部委託との適切な役割分担によって事務事業の効率化を図っている。なお、景観計画の策定には、優れた知見が求められるほか相当の裁量が伴うため、正規職員以外の職員での対応は難しい。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	景観計画策定は「国民生活の向上並びに国民経済及び地域社会の健全な発展に寄与すること」を目的としており(法1条)、受益機会・費用負担は公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	当事務事業は景観法で景観行政団体の事務事業と規定されている。また、良好な景観の形成を促進することは、第1次総合計画第4章に掲げる基本政策「快適で潤いのある生活環境づくり」の実現を図る上で不可欠なものである。なお、景観計画の策定には、優れた知見が求められるほか相当の裁量が伴うため、正規職員以外の職員での対応は難しい。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持		○																							
	低下																									
現状維持。ただし、5年間余りの作業ストップによる影響は大きいとみられることから、慎重に作業を再開することとしたい。		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) <input type="checkbox"/> C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) <input type="checkbox"/> D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>